

# 新秩父宮ラグビー場（仮称）〈全体概要〉

※記載内容は、事業提案に基づく内容であり、実際の設計・施工段階で変更となる可能性があります。

## プロジェクトのポイント

- 将来の運営を見据えて当初から民間のノウハウと創意工夫を最大限活用するため、**国の施設としては初のBT+コンセッション方式**を採用。ラグビー競技の利用を最優先としつつ、多様なスポーツ・イベントの実施と質の高いサービスを提供。
- 国内ラグビー場として初めて**全天候型・人工芝フィールド**であり、**ワールドクラスの競技環境**と、**多彩な観客席バリエーション・ホスピタリティサービス**による快適な観戦環境を実現。
- 太陽光発電1,000kw、**ZEB Ready 認証取得**など、環境負荷の低減に寄与。
- 各事業年度において、**利益の一定割合**をラグビーその他スポーツの振興に**還元する仕組み**を導入。

## 施設概要

所在地／アクセス	東京都新宿区 東京メトロ銀座線・外苑前駅から徒歩5分		
面積	敷地 約4.3ha（Ⅱ期完了時）	I期完了時 延床 約68,843㎡ Ⅱ期完了時 延床 約70,349㎡	
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、地上7階、地下1階		
観客席	約15,547人（ラグビー大会時）、約20,547人（イベント時）		
付帯施設	VIPルーム	有り	
	飲食・物販	有り	
	その他	大型映像装置（50m×12m（1面）、16m×9m（2面））、スポーツ博物館を併設等	
スポーツ興行	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラグビー日本選手権、リーグワン、大学選手権</li> <li>ラグビー以外のスポーツイベント</li> <li>コンサート、イベント、コンベンション等</li> </ul>		
防災機能	帰宅困難者の一時滞在施設としての機能を予定		

## 施設写真

外観完成イメージ①



外観完成イメージ②



内観イメージ



©Scrum for 新秩父宮

## 事業概要

事業スキーム	民間事業者が自らの事業提案書をもとに施設の設計、建設を行った後、JSCに所有権を移転するBT（Build Transfer）方式とし、運営・維持管理については、JSCが事業者に対して、公共施設等運営権を設定する公共施設等運営権方式（コンセッション方式）により実施。		
事業主体	JSC		
所有者	JSC		
整備方法	事業者（SPCを組成）による整備		
資金調達	JSCからのサービス対価の支払い、構成企業からの出資等		
管理・運営方法	コンセッション方式により事業者が運営		
事業期間	工期（Ⅰ期）	2024年2月～2027年12月	約3年11ヶ月（予定）
	工期（Ⅱ期）	2033年3月～2034年5月	約1年3ヶ月（予定）
	運営	2028年1月～2058年1月（予定）（30年間）	
事業収支（百万円）	施設整備費	53,812（税込）	管理運営費 非公開
	利用料収入	非公開	総収入 非公開

### ＜事業者の構成＞

- 代表企業：鹿島建設株式会社
- 構成企業：三井不動産株式会社、東京建物株式会社、株式会社東京ドーム
- 協力企業：株式会社松田平田設計、株式会社読売新聞東京本社、日本テレビ放送網株式会社、イバックス・エンタテインメント株式会社、株式会社ニッポン放送、ソフトバンク株式会社、鹿島建物総合管理株式会社、ALSOK常駐警備株式会社、株式会社東京ドームファシリティーズ、東京不動産管理株式会社